

問1 江戸時代、幕府や各藩が年貢収入を増やすために奨励した、新しい耕作地を開拓する事業を何という？

1. 新田開発                      2. 検地                      3. 兵農分離                      4. 刀狩

問2 幕府の命を受けて樺太を調査し、島であることを確認した探検家は誰？

1. 近藤重蔵                      2. 間宮林蔵                      3. 伊能忠敬                      4. 最上徳内

問3 江戸時代の農業において、都市の排泄物を肥料として再利用したものを何という？

1. 油粕                      2. 下肥                      3. 𧄨粕                      4. 干鰯

問4 杉田玄白らが翻訳して『解体新書』を出版した、オランダ語の解剖書を何という？

1. 蘭学事始                      2. ターヘル・アナトミア                      3. 外科新書                      4. 和蘭語彙訳

問5 江戸時代、薩摩藩が奄美大島などで生産させ、利益を得るために独占的に販売した特産品を何という？

1. 綿花                      2. 砂糖                      3. たばこ                      4. 茶

問6 国王が憲法と議会の定めた法律に従って政治を行う体制のことを何という？

1. 連邦制                      2. 絶対王政                      3. 共和制                      4. 立憲君主制

問7 江戸時代、朝鮮との外交や貿易の窓口として、幕府からその役割を独占的に任されていた藩を何という？

1. 肥前藩                      2. 長州藩                      3. 薩摩藩                      4. 対馬藩

問8 江戸時代、幕府が対外交流を限定的に制限した体制を何といいますか？

1. 鎖国                      2. 海禁                      3. 勸農政策                      4. 門戸開放

問9 江戸時代中期、農村において年貢ではなく、市場で売って利益を得るために栽培された作物のことを何という？

1. 換金作物                      2. 自給作物                      3. 年貢米                      4. 商品作物

問10 江戸時代、幕府が大名を統制するために定めた法律において、大名の妻子の江戸居住や、大名自身が1年おきに江戸と領地を往復することを義務付けた制度を何という？

1. 武家諸法度                      2. 参勤交代                      3. 本末制度                      4. 禁中並公家諸法度

問11 『富嶽三十六景』を描いた、江戸時代を代表する浮世絵師は誰？

1. 喜多川歌麿                      2. 歌川広重                      3. 葛飾北斎                      4. 東洲斎写楽

問12 江戸時代、幕府が唯一の対外窓口として、外国船の入港や貿易を管理させた港町を何という？

1. 平戸                      2. 長崎                      3. 博多                      4. 堺

問13 江戸幕府がキリスト教の禁止や貿易の制限を行い、長崎を中心とする外交体制を固めた政策を何という？

1. キリスト教禁止                      2. 鎖国政策                      3. 海禁政策                      4. 修好通商条約

問14 江戸時代後期に江戸を中心に栄えた、町人文化の全盛期を何という？

1. 元禄文化                      2. 東山文化                      3. 天平文化                      4. 化政文化

問15 江戸時代に流通した、貴金属の含有量によって価値が決まる貨幣を何という？

1. 銀貨                      2. 金貨                      3. 銅銭                      4. 紙幣

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 新田開発	河川の流域や湿地帯、あるいは未開の原野を切り開いて農地に変える取り組みが全国的に行われました。これにより、農業生産力は大幅に高まりました。
問2	答え 2 間宮林蔵	間宮林蔵は、伊能忠敬の弟子として測量技術を学びました。その後、北方の調査隊に加わり、過酷な自然環境を乗り越えて調査を実施しました。彼が発見した海峡は「間宮海峡」と呼ばれ、樺太が大陸と地続きではなく島であることを地図上で証明しました。
問3	答え 2 下肥	都市部で排出される排泄物は、農村において「下肥（しもごえ）」という貴重な肥料として買い取られました。これは都市と農村を結ぶ循環型経済の側面を持っていました。
問4	答え 2 ターヘル・アナトミア	杉田玄白や前野野沢らが、刑死者の解剖を見学した際に西洋の解剖書『ターヘル・アナトミア』と比較したところ、その正確さに衝撃を受けました。彼らは蘭学の知識を総動員してこの書物を翻訳し、『解体新書』として刊行しました。
問5	答え 2 砂糖	薩摩藩は奄美大島などを支配下に置き、そこで生産された黒糖を安く買い上げて、大坂などの市場へ高く販売する「専売制」を行いました。これにより薩摩藩は莫大な利益を得て、幕末には強力な軍力を蓄える原資となりました。
問6	答え 4 立憲君主制	立憲君主制では、君主の権限は憲法によって限定されています。イギリスが名誉革命を経て採用したことで、議会政治が発展するための法的な基盤となりました。
問7	答え 4 対馬藩	江戸時代になると、幕府から「通信使の接待」と「朝鮮との貿易」を公式に認められ、外交の窓口となりました。対馬藩は、朝鮮との経済的・文化的な交渉を一手に行い、幕府の鎖国政策のもとで安定した日朝関係を維持する重要な役割を担いました。
問8	答え 1 鎖国	幕府は外国との交流を制限し、日本人の渡航や帰国を禁止しました。貿易は幕府が直接管理し、長崎の出島を唯一の拠点として、オランダや中国の商人との交流のみを許可するようになりました。
問9	答え 4 商品作物	商品作物は、食べるための自給用作物とは別に、市場での販売を主目的として生産された作物です。綿花、菜種、藍などが代表的で、これらは特定の地域で集中的に生産され、商人を通じて全国へ流通しました。
問10	答え 2 参勤交代	参勤交代は、大名の妻子を江戸に住まわせ、大名本人も1年おきに江戸と領地を往復させる制度です。旅費や江戸での滞在費はすべて大名の持ち出しであるため、大名の軍事費や経済力を削ぐ効果がありました。
問11	答え 3 葛飾北斎	葛飾北斎は、各地から富士山を眺めた景色を描いた『富嶽三十六景』で、浮世絵の中に「風景画」というジャンルを確立しました。大胆な構図と、輸入染料「ベロ藍」を使用した鮮やかな青色が特徴で、当時の人々に衝撃を与えました。
問12	答え 2 長崎	長崎は幕府の直接の管理下に置かれ、長崎奉行が置かれました。ここにはオランダ商館や中国船の貿易拠点が設置され、海外からの物品や情報がすべてここを経由して全国へ運ばれました。
問13	答え 2 鎖国政策	鎖国政策は、日本人の海外渡航の禁止、外国人の入国制限、貿易の管理を行うことで、幕府が対外関係を独占する体制です。長崎の出島を窓口としてオランダや中国などとの交流は続きましたが、それ以外は厳格に制限されました。
問14	答え 4 化政文化	江戸を中心に、歌舞伎や浮世絵、小説などの娯楽が大きく発展しました。この時期の文化は、当時の元号である「文化・文政」から「化政文化」と呼ばれます。喜多川歌麿や葛飾北斎による浮世絵や、十返舎一九の滑稽本などが代表的で、贅沢で遊び心のある雰囲気の特徴です。
問15	答え 2 金貨	金貨は、その中に含まれる金の純度や重量が貨幣としての価値を決定しました。代表的なものに「小判」があります。経済の拡大とともに貨幣の流通量は増え、商取引がスムーズに行われるようになりました。